保護者・地域の皆様へ

【小学校版】令和８年度全国学力・学習状況調査の結果

令和８年 10 月
菰野町教育委員会

令和８年４月 23 日に、小学校６年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要をまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解とご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童質問調査からみられた本町の児童の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取り組みについてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果

今年度の教科に関する調査は、国語、算数の２教科で実施されました。
本町では、国語は全国及び三重県の平均正答率を下回りました。
算数は全国の平均正答率は下回りましたが、三重県の平均正答率よりは上回る結果となりました。※公立小学校の結果



		国語	算数
小学校	本町	60	56
	三重県	61	55
	全国	60.9	56.4

児童質問調査からわかること

菰野町の子どもたちのよいところ

- 普段の生活の中で幸せな気持ちになることがよくある 93.6%（全国 92.5%）
- 人が困っているときは進んで助けている 94.1%（全国 92.7%）
- 友達関係に満足している 91.3%（全国 91.1%）
- 先生は、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる 89.1%（全国 87.3%）
- 自分には良いところがあると思う 87.7%（全国 85.6%）
- 朝食を毎日食べている 94.7%（全国 93.3%）
- 毎日同じ時間に起きている 92.8%（全国 90.7%）
- 算数の授業内容がよくわかる 80.2%（全国 77.5%）

※子どもたちが児童質問調査で肯定的に回答した割合が全国より高かった設問より

菰野町では、教育活動全体を通じて、子どもたち一人ひとりのよさを認め、考えや思いを受け止めることで、自己肯定感を育むとともに、互いに認め合い、支え合える人間関係づくりや、安心して学べる環境づくりに取り組んできました。

今回の調査で、子どもたちのよいところが多く見られたことは、学校での取組だけでなく、家庭や地域における温かい声かけや励まし、ご支援が、子どもたちの安心感や自信につながっていることの表れであると考えております。

今後も学校は家庭や地域と連携し、子どもたちが将来の夢や目標の実現に向けて、自らの可能性を伸ばしていけるよう努めてまいります。

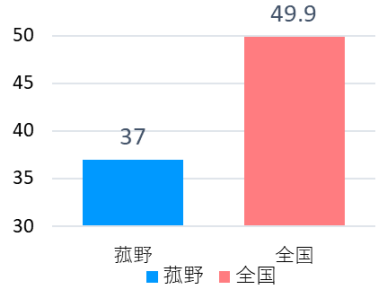


児童質問調査からみられた課題と改善に向けて

Q　平日はどのくらい勉強しますか。平日にどのくらい SNS や動画視聴をしますか。

家庭学習時間が短い

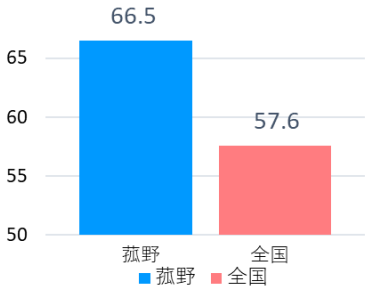
平日に授業以外で１時間以上勉強をすると回答した児童の割合





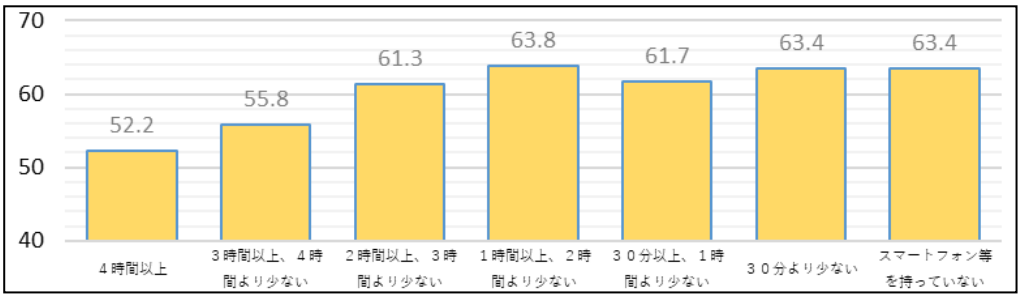
SNS や動画視聴時間が長い

平日に２時間以上 SNS や動画視聴をすると回答した児童の割合





「SNS や動画視聴」の質問と２教科の平均正答率の関係





「平日の授業以外で１時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合は、全国と比べて低い傾向にあります。また、「平日に２時間以上 SNS や動画視聴など（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）をする」と回答した児童の割合は全国より高い結果となりました。

さらに、**SNS や動画視聴をする時間が少ない児童ほど、教科の平均正答率が高くなる傾向**が見られます。

家庭で学習する習慣を身につけさせましょう

子どもたちが学校で学んだ知識や技能をしっかりと自分のものにし、将来に向けて学び続ける力を育むためには、日々の「家庭での学習習慣」を身につけることがとても大切です。日常的に予習や復習、反復学習に取り組むことが、基礎・基本の確実な定着へとつながります。

菰野町では、一人ひとりの学びを支えるため以下の取り組みを行ってまいります。



【菰野町の主な取り組み】

〇「家庭学習の手引き」の配付と活用

日頃の学習や生活リズムを振り返る指針として活用できます。

〇一人一台端末（デジタルドリル）の活用

自分のペースに合わせて前学年の復習を行ったり、発展的な先取り学習に取り組んだりすることができます。学校でも家庭学習の課題として今後さらに積極的に活用してまいります。

【保護者・地域の皆様へのお願い】

〇温かい励ましと環境づくり

集中できる環境を整え、頑張りを認める声かけをお願いします。

〇望ましい生活習慣の見守り

ゲームや SNS、動画などの長時間利用を防ぐルール作りをお願いします。



教科に関する調査結果と改善に向けて



【小学校　国語】

≪平均正答率が高かった問題≫

◇　動画の構成メモの工夫として適切なものを選択する問題。　正答率：約 75%

・　休み時間の過ごし方を動画にして学校のみんなに紹介する際の、動画の構成メモの工夫として適切なものを選択することができます。

≪平均正答率が低かった問題≫

◆　花山さんが「集めた情報」をもとに、「花山さんの文章の続き」内の空欄に入る内容を条件に合わせて書きまとめる問題。　正答率：約35%

・　引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられます。

≪学習の手立て～今後の授業では～≫

◇ 引用する目的を明確にした上で、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書かせます。

◇ 原文のまま正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことを指導します。

◇ 引用する際には引用した文章の出典について明記するとともに、引用する部分が適切な量になるように指導します。その際、著作権を尊重し保護するために、引用部分は「　」でくくらせます。

◇ 自分の考えが伝わるように引用している文章と、引用していない文章を読み比べ、引用する意義を確かめさせます。

◇ 引用する部分を選んだ意図や目的について交流し、自分の考えを明確にする活動を設けます。



【小学校　算数】

≪平均正答率が高かった問題≫

◇　小数が整数と同じ仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数を書く問題。　正答率：約 95%

・１、５、９の３枚のカードを用いて、最も大きい小数点□.□□の数字を書くことができます。

≪平均正答率が低かった問題≫

◆　二次元の表（二つの観点からまとめられた表）から、条件に合う数を読み取る問題。　正答率：約 15%

・二次元の表から、「前半にあやとりをする人数」と、「前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数」を読み取ることに課題がみられます。

≪学習の手立て～今後の授業では～≫

◇ 目的に応じて、二次元の表から必要な情報を読み取る活動を行います。

◇ 二つの観点を順序良く追ったり、読み取った数値がどのような場合なのかを捉えさせたりします。その際、ペアやグループなどで示された数値について説明させる活動も取り入れます。

◇ 二次元の表を作成することを通して、データを二つの観点から分類整理する方法を理解させます。

今回の全国学力・学習状況調査の結果を真摯に受け止め、菰野町では、学校と教育委員会が一体となり、子どもたち一人ひとりの学びを大切にした授業改善と学力向上に向けた取組を、より一層推進してまいります。子どもたちが「わかった！」「できた！」という喜びや達成感を実感し、自信をもって学び続けられるよう、教職員一人ひとりが授業づくりに真摯に向き合い、確かな学力の育成に全力で取り組んでまいります。